



発見「！」と疑問「？」を繰り返し
ながら自分達の力で「？」を解決し
ていきます。知って、試して、みんな
となかよし！

学校のこともっといっ
ぱい知ってなかよしく
なりたいな。

活動のきっかけ

全てのことが新しい1年生は、いろいろなことに興味津々です。ぴかぴかの教室、新しい教科書、たくさんの友達に囲まれて、これから起きる出来事に期待を寄せて、わくわくドキドキしています。

学校って楽しいの？
学校には何があるのかな？
学校にはどんな人がいるのかな？
たくさんの「？」をポケットに詰め込んで、出発！



学校となかよし
(学校探検)

機械の部屋？

お花がいっぱい咲いて
いるのを見つけたよ。僕
たちも育ててみたいな。

お花となかよし
(花の栽培)

聞いてみよう！

鍵のお部屋！

倒れないように・・・

プールが緑色！？

友達と 試す 協力する

小さい葉っぱ何？



身近な疑問を考える

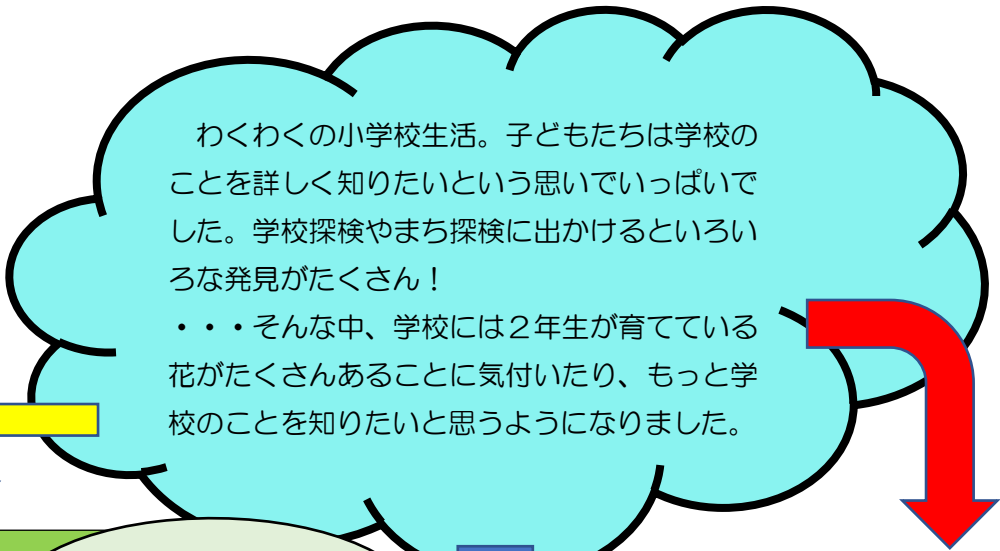
- 学校にはたくさんの教室があって、子どもの安全を守るための「くふう」がたくさんある。
- 学校には多くの先生達がいる。先生以外の大人もいて、私達のためにいろいろな仕事をしている。
- 分からないことがあったら、調べたり、人に聞いたりしてみる。友達と協力して試してみると、解決できることもある。

自分たちにできること

調べたり聞いたり試したりすることで、繰り返し「？」を解決し、「自分達でも問題を解決することができる」という自信をもちました。引き続き、自分達の生活に身近な「ヒト」「モノ」「コト」に興味をもって活動し、友達と協力して学ぶ楽しさや、自分達の生活を支えてくれている人の存在について考えていきます。

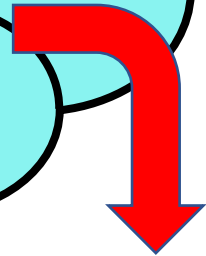
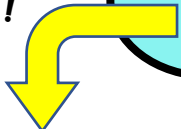


お花やん、もの、自分たちの宝物を見つけていこう！




わくわくの小学校生活。子どもたちは学校のことを詳しく知りたいという思いでいっぱいでした。学校探検やまち探検に出かけるといういろいろな発見がたくさん！

・・・そんな中、学校には2年生が育てている花がたくさんあることに気付いたり、もっと学校のことを知りたいと思うようになりました。



お花いっぱい大作戦！！



2年生のようにお花を育ててみたい！

このお花かわいい！

図鑑を持ってきたよ！

「大きくなあれ」って声をかけてみよう！

学校を探検しよう！！



秘密の扉の先は・・・



プールって深い！！

毎日がSDGsの始まり。

こんなに残していいのかな。




お花大きくなあれ！




芽が出てきたよ！


2年生が悩みを聞いてくれました！

先生たちには得意な仕事があるみたい！


先生のこともっと知りたい！




捨てちゃもったいない！ペン立てやボードゲームを作ったよ！



12 つくる責任 つかう責任



きれいなお花が咲きました！



もっともお花を育てたい！

大切に育てた花が咲いてうれしい！

身近なことやものを好きになる

お花、人、ものなどとのかかわりを通し、自分を大切にすることを育むとともに、他者の気持ち考えたり、生き物に愛着をもてるようにしたりします。

また給食指導、係活動等で、SDGsの視点をもった取り組みを行い、ESDの根っことなる部分を育てていきます。

1年3組



お花がいっぱいだと
うれしいな。お花のこ
とを多くの人に
伝えたいな。



活動のきっかけ

高島中央公園に「春探し」
に行った際に、「自分たち
も育ててみたい」「もっと
公園がお花でいっぱいにな
ったらいいな」と感想
が出てきました。そこで、
Flower Bridge Project
が始動しました。



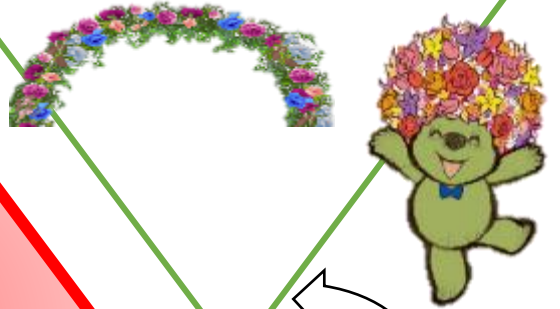
自分たちにできること

1年生で学んだり知ったりし
た、お花のことやオーストラ
リアのことを学校のみな
に伝えていきます。



おはなとなかよ なり隊

公園のお花をじっくり観察
したり、自分のお花を育て
たりしました。



つながる
つなげる



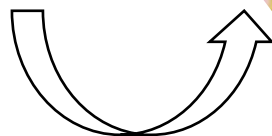
街の人となかよ なり隊

高島中央公園の秋祭りで、
ブースを出し、街の人にも
お花の良さを知ってもらい
ます。



オーストラリアと なかよくなり隊

オーストラリアの学校と、折
り紙で折った花束をプレゼン
トしたり、「パプリカ」を歌
ったりして交流します。



2年1組



活動のきっかけ（マンションたんけん）

自分たちのマンションで気になっていることがある？という問いかけに、多くの子どもたちが疑問をもっていることが分かりました。日ごろ目にしているマンションで働く人たちの存在に気づき、活動がスタートしました。

みなとみらいって、
こんなにすてきなまち！
MMのみりょくをみらいへ
つなげていきたいな。

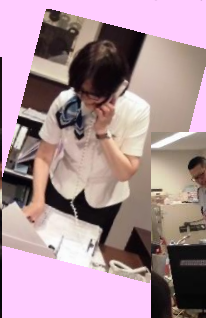
マンションたんけん

自分たちには、コンシェルジュが毎日いてくれていて、住んでいる人やゲストの人が気持ちよくすごせるようにしてくれていることや防災センターでは、安全に暮らせるように守られていることを知りました。

住む

快適

安全



遊ぶ

公園たんけん

季節を感じられる高島中央公園、水の生き物と触れ合える高島水際線公園、それぞれの魅力とその環境や自然を守ったり、管理をしたりしている人の存在に気づきました。

みなとみらい

働く

自然

観光

オフィス

モールたんけん

ランドマークタワーやマークイズなどの近隣のショッピングモールをたんけんし、お店の人の働く様子などを調べたりする。



マレーシアと比較

自分たちのまちと比較をすることで、まちの魅力や発信していきたいことを考えることができる。

みなとみらいのまちの魅力を考える

- 「住む」：防犯や防災に備えて、様々な工夫やサービスがされている。住民が快適に過ごせるように体制が組まれている。
- 「遊ぶ」：大好きな公園の管理をしたり、自然を守ったりしている人がいることに気づき、自分たちも一緒に取り組もうとしている。
- 「働く」：マンションのために働く人、買い物施設で、オフィスでとたくさんの方が働く場所でもあることを知る。

自分たちにできること

様々な人の支えによって、自分たちの快適な暮らしがあることに感謝し、だれもが気持ちよく過ごせるまちづくりの方法を考えます。

2年2組



活動のきっかけ

普段からよく利用している高島中央公園へまちたんけんて出かけました。公園に何度も通っている内に、公園の管理や維持には多くの人に関わっていることを知り、自分たちにもできることはないかと考えました。

高島中央公園をもっとすてきな場所にして、みなとみらいがもっといいまちになるといいな

11 住み続けられるまちづくりを

気持ちよく過ごせる公園やまちにしよう！

SDGs

まちづくり

みんなが気持ちよく過ごせる公園にしたいな！

生き物が過ごしやすい公園になるといいな！

公園にもっと木や花が増えるといいな！

木や花を増やして生き物が暮らしやすい公園にしよう！

高島中央公園

公園づくり

高島水際線公園

海の生き物にとっても過ごしやすい公園になるといいな！

●公園の環境整備

高島水際線公園

高島中央公園

自分たちにできること

公園や海などにごみを捨てないことや木や花を大切にすることなど、身近な所から自然や環境のためにできることを考えていきます。

身近な公園への愛着をスタートにして、みなとみらいのまちのよさや環境問題について考える

- みんなが楽しく過ごせる公園をずっと大切にしたい。
- 公園や海の保全・管理には多くの人に関わっており、たくさんの人の思いがまちづくりにつながっている。
- 木や花、土や水などの環境が生き物の暮らしに大きく関わっている。

6 安全な水とトイレを世界中に

14 海の豊かさを守ろう

水をきれいにして生き物が暮らしやすいようにしよう！





活動のきっかけ

体を動かすことが大好きな子どもたち。休み時間にはドッジボールや追いかっこだけでなく、できなかった鉄棒や縄跳びの技に挑戦する子もいる3年1組。

友達にアドバイスをもらってできるようになるとうれしいな！みんなでスポーツをすると楽しいな！スポーツで笑顔にしたいな！そんなシンプルな思いがらくらんでいきスタートしました。



スポーツを通して、みなとみらいのまちを笑顔でいっぱいにしてしよう！

しらべてみる



知っているスポーツと知らないスポーツ。やったことのあるスポーツとやったことのないスポーツ。クラスの中でも、知識や経験に違いがあることに気づきました。中には、「ポッチャを公園でやったことがあるよ」と言う子も。辞書や事典で調べてみることにしました。

みてる



リオで開催されたオリンピックやパラリンピックの映像から、試合の熱気が伝わってきました。シッティングバレーの試合を見た後、「体育でやったキャッチバレーとの違いは何か？」など新たな問いが生まれてきました。



やってみる



シッティングバレーボール体験

- ・足を動かさないと前に進むことが大変だな。
- ・足が使えないのは大変！手の力が強くなるのかな？
- ・もしかしたらシッティングドッジボールやシッティングバスケットなどもあるのかな？

ポッチャ体験

- ・思ったよりも転がってしまい難しかったな。
- ・体が不自由な人はもっと大変なのかな。
- ・体が不自由な人にもできるように考えて作られたスポーツだから、きっと簡単だよ。



スポーツについて考える

- 「みんな」が楽しめるスポーツって？
- 野球などの運動をした高島中央公園が、みなとみらいにはある。公園でできることは何か？
- 今年は、ラグビーワールドカップが行われる。来年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、横浜もその会場の一つになる。

自分たちができること

スポーツのよさを、多くの人に発信したり、発信後に感想をきいて修正したりと試行錯誤しながら、スポーツを通して、笑顔をいっぱいにしていくために考えていきます。

3年2組

高島水際線公園の現状から、海の問題を考えます

活動のきっかけ

子どもたちが「みなとみらいのいいところ」を考えたところ、「海が近いこと」という意見が多数挙がりました。しかし「でも海って汚いよね」「生きものあまりいないよね」というイメージが子どもたちの中にはありました。そこで「自分たちができることはないかな」と考え始めたことがきっかけとなり、臨港パークや高島水際線公園で活動を始めました。

臨港パークの様子を見に行こう

海に面しているところで一番子どもたちの身近になる臨港パーク。あまりのゴミの多さに驚き、生き物が住めるか心配になりました。



とうめいだね!



海の水ってきれいなのかな?



たくさんゴミがあるね!



ハマ海会の方の思いを聞こう

ハマ海会代表の吉野さんから「横浜の海にもっと生き物を増やしたい」など、思いを聞きました。

葦(よし)が多くて生きものが住みづらくなってるんだよね...



高島水際線公園の様子を見に行こう

浅瀬や干潟があり、魚やカニも見ることができました。「緑がたくさんあるね」と思う子もいましたが、「逆に多すぎて生き物が住めない」と思う子もいました。



葦(よし)をとろう



とった葦も捨てないで使いたいね!



海の問題を考える

- 「葦の加工」：葦は数がすぐに増え、処理に困る植物。よしずやバッグに加工することで有効活用ができる。
- 「ヘドロ」：ヘドロが海底の土の上に積もることで、海底で住む生き物の住処がなくなってしまう、生態系にもかかわってしまう。
- 「海との共存」：人が自然環境に手を加えることで、プラスにもマイナスにもなる。お互いにとってのメリットを考え続ける必要がある。

自分たちにできること

刈り取った葦でよしずやバッグなど、物を作って生活に役立たせよう!
ヘドロをとって、海の生き物が来たいと思える場所にしよう!

4年1組



パラスポーツの体験を通して、だれもが楽しく過ごせるみなとみらいのまちについて考えます

活動のきっかけ パラスポーツを見る



来年2020年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年。どんな競技が行われるのか興味をもち、前回大会のリオオリンピック・パラリンピックの映像を見ました。そこで印象に残ったのは、楽しそうに全力で競技に参加するパラリンピアン姿。



だれもが楽しむことのできるパラスポーツの秘密について知りたいという思いをもちました。

パラスポーツを調べる

パラスポーツの道具やルールなどを調べました。すると、その人に必要な工夫や支援をすることで、障害のあるなしにかかわらず、スポーツの楽しさが味わえること、自分の限界に挑戦できたり、全力で競い合えたりすることに気がきました。

タッピング棒
水泳で、視覚に障害がある選手がかべにぶつからないようにするための用具



パッド
うでに障害のある人が短距離のクラウチングスタートをするときに使う用具



パラスポーツを体験する

シットイングバレー

- 脚に障害がある人も楽しめる。
- 座った姿勢でプレーする6人制のバレーボール。
- ボールをさわるときには、お尻を床からはなしてはいけない。

ボッチャ

- 重度脳性麻痺者、重度四肢機能障害がある人も楽しめる。
- 的(ジャックボール)をめがけて、ボールを投げ、距離が近いかどうかを競う。
- ボールを押し出すのが難しい場合は、ランプと呼ばれる滑り台のような道具を使う。

ゴールボール

- 視覚に障害がある人も楽しめる。
- 全ての選手が黒のアイシールドをつけて、何も見えない状態で競技をする。
- 鈴の入ったボールをゴールする。
- コートの枠は凸凹のマーキングがされている。

ボッチャ体験の様子

ルールが分かりやすいのも楽しめるポイントだね



体力をあまり使わないから、体力に自信がない人でもできるね。



立っても、座ってもできるから、車いすの人でもできそう！



だれもが楽しく過ごせるみなとみらいのまちに…



「車いすに乗っているぼくのおじいちゃんも楽しく一緒に運動ができるといいな。」パラスポーツを体験した振り返りで出た言葉です。みなとみらいには、子どもからお年寄りまで幅広い年齢の方が住んでいます。また、怪我をしていたり、障害をもっていたりして、生活が不便に感じている人もいます。だれもが楽しめるパラスポーツの魅力を広めるとともに、だれもが楽しく過ごせるみなとみらいのまちにするためにできることを考えていきます。

参考：

I'mPOSSIBLE



国際パラリンピック委員会公認教材

4年2組

活動のきっかけ

昨年は、まちに自然を増やすための活動をしました。今年は、海の環境を守るような「ものづくり」がしたい、という思いで考え始めました。マイクロプラスチックも大きく話題になっていることに加えて、まちに落ちているごみや帷子川、臨港パークに浮いているごみが気になっていたからです。そこで、みなとみらいの海は汚れてしまっているのか調べてみました。



みなとみらい海、帷子川河口から、廃プラごみや間伐材活用の問題を考えます



海の水も川の水も透明で綺麗に見える！

海に浮いていたごみ調べ

拾ったごみはプラスチックがいっぱい！ほとんどのプラごみは一回使ったら終わりのものばかり。



ごみはどこへ

「鶴見ごみ焼却工場」

「南本牧廃棄物最終処分場」

プラも焼却処分されている。最終処分場はあと30年でいっぱいになってしまう！



海中教室

海の環境は生活にも深く関わっているね。

海中にもプラごみが漂っていた。これは、海の生物にもよくない！



木材の特性、

日本の山が抱える課題

健康な山でないと、土砂崩れが起こってしまったり、山が荒れていってしまう。



間伐材をたくさん使っていけば、道志の山が豊かになっていくよ。



脱プラスチック プロジェクト発足！

これからもずっと海の環境を守り続けるためには、使い捨てのプラ製品に替わる「ものづくり」がしたい。海も山も守れる木のストローを探求して、広めていこう！



ウッドストローの作り方

思ったよりも簡単に作れたよ



プラごみ・海の環境問題を考える

- 「使い捨てプラ製品」プラスチック製品は使い捨てのものが多く、一度使ったものはごみになっている。
- 「マイクロプラスチック」小さくなったプラスチックは海洋で分解されにくい。海洋への流出量が多く、大量に蓄積している。
- 「生活スタイルの見直し」便利さと環境負荷、持続可能な開発を秤にかけて、どういう生活をしたらよいかと問い続ける必要がある。

自分たちにできること

プラスチックのストローと木のストローの便利さや使い心地を比べよう。プラスチックストローよりも使ってもらえる木のストローを作って広めたい！

5年1組

豊かな生態系を守り、維持していくために、高島水際線公園の現状から、廃プラスチックやヘドロの問題を考えます

アマモを増やそう

去年、みんなで植えたアマモが大きく成長していました。



まちのエネルギーを知ろう 「みなとみらい熱供給へ」

まちのビルやマンションの地域冷暖房を担う会社を見学しました。

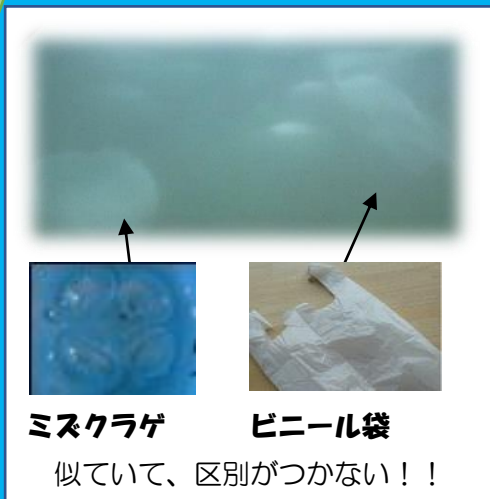


活動のきっかけ

4年生の時に、高島水際線公園を調べました。その公園は人が少なく自然の多い場所でした。ところが、調べてみるとたばこやビニール袋などが落ちていてびっくりしました。そこで、ごみ拾いをしたりクラスでリーフレットを書いて呼びかけたりしました。その結果、公園について興味をもってもらう人は増えてきましたが、ごみが減るところまでは達成できませんでした。また、ヘドロも多くなっているままでした。

海の中を知ろう「海中教室」

海の中の様子を水中カメラで映し、学校のモニターに映し出しました。



ミスクラゲ

ビニール袋

似ている、区別がつかない！！



海に浮いていたごみ

プラごみがいっぱい！！

水中の映像を見ると、クラゲとビニール袋が似ていることに驚きました。ビニール袋を魚が間違えて食べてしまうと、胃の中に残って死んでしまうことが分かりました。人間の勝手な行動からマイクロプラスチックが増え、環境を傷つけていることを知りました。



プラスチック・海の問題を考える

- 「マイクロプラスチック」：小さくなったプラスチックは海洋生物が摂取し、体内に留めてしまう。影響を受けるのは魚介類だけでない。
- 「レジ袋」：年間5兆枚使われて、その半分は捨てられている。
- 「輸出される日本のプラスチック」：日本のプラスチックの排出量は世界第30位だが、輸出されるプラスチックを含めると、世界3位相当になる。
- 「たまり続けるヘドロ」：自然で浄化できるスピードより多くの富栄養化物質が河川に流入している。浄化しきれないものがヘドロとして堆積。

自分たちにできること

流入するごみや堆積するヘドロを減らす取り組みを進めて、公園の生き物環境を守りたい。持続可能な公園の環境を整えていきます。



5年2組



みなとみらいの街を
自然・生き物の視点から
考えます。

生き物・自然から
まちと向き合う

思いをもつ



3月のゴールを設定し、活動の「目的意識」相互意識を明確にし、

思い
 ① 目的意識
 ② 目的意識
 ③ 目的意識
 ④ 目的意識
 ⑤ 目的意識
 ⑥ 目的意識
 ⑦ 目的意識
 ⑧ 目的意識
 ⑨ 目的意識
 ⑩ 目的意識
 ⑪ 目的意識
 ⑫ 目的意識
 ⑬ 目的意識
 ⑭ 目的意識
 ⑮ 目的意識
 ⑯ 目的意識
 ⑰ 目的意識
 ⑱ 目的意識
 ⑲ 目的意識
 ⑳ 目的意識

つながり
 ① 目的意識
 ② 目的意識
 ③ 目的意識
 ④ 目的意識
 ⑤ 目的意識
 ⑥ 目的意識
 ⑦ 目的意識
 ⑧ 目的意識
 ⑨ 目的意識
 ⑩ 目的意識
 ⑪ 目的意識
 ⑫ 目的意識
 ⑬ 目的意識
 ⑭ 目的意識
 ⑮ 目的意識
 ⑯ 目的意識
 ⑰ 目的意識
 ⑱ 目的意識
 ⑲ 目的意識
 ⑳ 目的意識

活動のきっかけ

4年生では、水際線公園の生き物と触れ合いながらみなとみらいの生き物について考えました。「生き物とたくさん触れ合いたい!」「生き物は好きだけど、自分たちの思いだけで向き合えてないかも」

そこで、みなとみらいの「自然」と「生き物」を視点に自分たちが住むまちを考え、全校や地域の方との関わりを通して「生き物の命の大切さ」「生き物を増やしたい」という思いから始まった活動。



生き物ために、環境のために、
私たちの学校のために、地域の人のためにそして下級生のために
生き物と触れ合い、人とつながれるそんな空間をつくりたい

ゴールの設定

多くの人と
つながり、関係を深めたい

まちのエネルギーは?

「みなとみらい熱供給」へ行き、みなとみらいのビルやマンション等の地域冷暖房を担う会社を見学しました。何気なく使っているエネルギーの仕組みを知りました。



海の中と教室をつなぐ

海の中の様子を水中カメラで写し、海の中と教室をつなぐ「海中教室」人間の行動が生き物にどんな影響を与えているのか実感した時間でした。



生き物がいる場所

学校の近くにある「水際線公園」には、たくさんの生き物がいる。でも、ヘドロがあったりゴミがあったり・・・この場所もここにいる生き物ももっと知ってほしい。



まちの自然のしくみを

まちの自然を管理している加藤さんとの意見交流。まちの自然の仕組みや取り組みを教えてくださいました。



体験・出会い

知るために

次につなげる

「オアシスづくり」に向けて、チームでの活動の心配事や悩み事を18人で共有し、18人で解決しよう。

<p>チーム 西木 浩・門澤 浩田</p> <p>「校長先生にどんなこと聞かれるかな・・・?」 「何のために話のたのしみしてオアシスをつくるの?」 「どんなオアシスにするの?」 「つくってどんないいことがあるの?」 「管理維持や廃棄について」</p>	<p>チーム 入江・大津</p> <p>「どんなオアシスにするの?」 オアシスに水増し何個? 生き物は何匹飼育する? 一決するの仕方?」</p>	<p>チーム 田家・飯沼・木村</p> <p>「オアシスに置く生き物をどうするの?」 「どんな生き物や自然を植えるのか?」 「一決するの仕方?」</p>	<p>チーム 関根・井野</p> <p>「グループでの集物の仕方はどうする?」 「集物を分ける?」 「全ての集物を全グループが聞く?」</p>	<p>チーム 村田・工藤・新田・和田・藤井・和田</p> <p>「全校、地域の人が向けアンケートをつくったよ、みんなでもほしい。」 「みんなから意見聞いて・・・」</p>
---	--	--	---	---

この二つはよく似ている!!
これは自分たちだけでは難しい・・・

みんなが意見を聞いて・・・

リハーサルして・・・

専門家に聞いてから!!!
アンケート結果を基に考えて!!!

みんなから意見を聞いて・・・

「みんなのために」をもちと具体的に!!!

オアシスにどんな生き物や自然を置くのか考えて、少しずつ決めていこう。

街頭インタビューの許可ももらって、グループ決めて、街に出よう!!!

このアンケートも、みんなの考えと出会い、どうするか・・・

自分たちの思いを形にするために行動する18人

自分たちの思いだけでなく、多くの人々の考えを知りたい。様々な人の思いを形にできたらと考えています。全校や保護者へのアンケート、街頭インタビュー等。自分たちでできることを探して、課題に向き合い中。

人との出会いやつながりを通して考える

活動を進める中で、「なんとなく知っているつもり」や「こうかも」とあやふやなことに悩んでいる。自然や生き物を通して、本物に出会い、自分たちのまちの今、そしてこれからを考えていきます。

6年1組



地球温暖化・ヒートアイランド現象の対策とは？

本学級では、「地球温暖化」「ヒートアイランド現象」に問題意識をもち、その対策について「ものづくり」を通して考えている。

ものづくりから社会を考える

～将来の社会の担い手である子どもとSDGs～



打ち水装置に使う
雨水の濾過実験



省エネ部屋の
模型作り



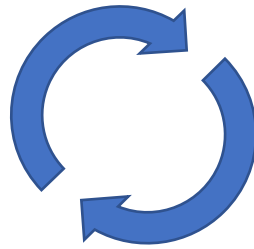
土壌混合法による
生ごみの削減



ヒートアイランド
対策ミスト設置



花や果物の皮を
再利用したポップ



Action

ものづくり

- ①自由試行 (メッティングアpart)
- ②問題・目標の洗練化
- ③環境対策への興味促進

Feed Forward

活動の価値付け

- ①SDGsの視点からの価値付け
- ②新たなゴールの設定
- ③環境対策への興味促進

本日の学習

子どもたちのものづくりを
SDGsの視点からの価値付け、
新たなゴールを設定する。

ゲストティーチャー

三菱重工業株式会社ほか



将来の社会と自分のビジョンをもつ

- ・将来のどんな社会でどう生きたいか？
- ・みなとみらい本町小が目指すべき学校とは？
- ・みなとみらいが目指すべきまちとは？
- ・私たちが目指すべき世界とは？ など



活動のきっかけ

「6年生では自然をテーマにした総合学習がしたい」という子が多くいる中、地域の海の保全活動をしている「ハマの海を思う会」の方に「臨港パークの池を干潟にする計画があるので、協力してほしい」と要請されました。「小さいころから近所にあった海だけれど、どんな生き物がいるのか、どうしたら豊かな海になるのかよくわからない…」と思った子どもたちは、自分たちにできることを考え始めました。

みなとみらいの海を
未来に残そう!

調べる



干潟って何?

聞いたことはあるけど、どんな場所なのか、よくわからない。池と何が違うのだろう?干潟だと、どんなよいことがあるのだろう?

まだ調査中!

どうやら多様な生き物が生態系を作るらしい。砂と泥どちらがいいの?生き物のバランスは?広さは?水質は?何が 필요한の?わからないことがいっぱい!



臨港パーク「潮入の池」調査

カニがたくさんいる!

エビもハゼも採れた!

臨港パークにこんなに生き物がいるなんて知らなかった!

海のゴミが多いのが気になる...



見る



人工干潟「潮彩の渚」見学

貝殻浜の砂と違いはあるのかな?

海底が3段になっている

海水を入れるだけでエサはいらないらしい。楽だ。



貝殻の破片だらけだ

天然干潟「貝殻浜」調査

満潮だとけっこう危ないね

こんな風に自由に海で遊べる場所が、みなとみらいにもあったらいいな!

学校の水槽には酸素装置やエサが必要

比べる



海の保全を考える

- 横浜に海と親しめる場所を増やしたい。コンクリートで埋め立てるのではなく干潟にすれば、海の生き物が増えて水質もよくなる。未来のみなとみらいの子どもたちに、海で遊べる場所を残したい。
- 生き物を「飼う」のではなく、自然に生き続けられる仕組みを作りたい。
- 海上保安庁の仕事など、防犯上の海の保全のことも知りたい。
- 自分たちの住むまちの海をよく知り、自然いっぱいの素敵な場所にしたい。

自分たちにできること

海ゴミや汚染問題に関心をもち、自分たちの生活を見直します。みなとみらいの海の豊かさや干潟のよさを学校みんなに伝えて、持続可能な場所になるよう働きかけます。



郵便局は、私たちの生活の中に、どのように関わっているのかを知り、広める。仕事のやりがい・大変さを知る。

郵便局の局長さんに質問しに行こう

パンフレットを見ていて、新たな疑問がたくさんできました。「暑中見舞いの書き方をしりたいです。」
「お仕事の大変なときってどういうときですか？」

みんなの疑問を郵便局長さんに質問しに行きました。



郵便局にみんなで作った絵を飾ってもらおう

郵便局に学習室で作った作品をかざってもらいました。地域の方からも、絵をみたよ！と言われ、嬉しくなりました。



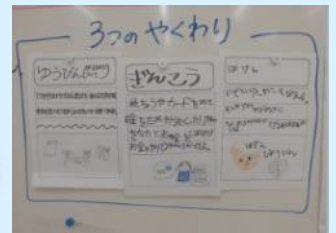
活動のきっかけ

みなとみらいのまちには、どんなものがあるのか知るためにまち探検にいきました。その中で一番気になった場所は、「郵便局」です。郵便局って何をしているところなのか、意外と知らない、...。「切手があるところかな。」「お手紙を出すところかな。」みんなも、郵便局の事って知らないことたくさんあるのかもしれない！学習室が「郵便局マスター★」となってみんなに、郵便局の事を教えてあげようと思いました。

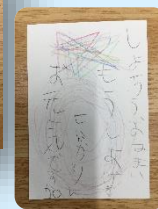
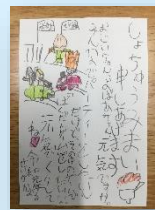


郵便局の役割について学び、深める

郵便局の局長さんから郵便局の仕事について知ることができるパンフレットをもらいました。パンフレットから分かったことをまとめました。



暑中見舞いの書き方を教えに郵便局の局長さんたちが、学校に来てくれました。暑中見舞いの書き方を丁寧に教えていただくことで、素敵なはがきが完成しました。書き方のポイントもたくさん教えていただきました。



これからの活動

郵便局の役割について、みんなの知らないことを教えます。この学習で分かったことをこれからの生活や将来に生かしたり、仕事や他者と接する上で大切なことについて考えたりしていきます。

郵便局のことについて分かった事・できるようになったこと

- 郵便局には、「郵便」「銀行」「保険」という大きく3つの役割があるということが分かりました。
- 郵便局の局長さんにたくさんの事を教えてもらえました。
- 自分の住んでいる場所の住所を覚えることができました。また、はがきに小さい文字で住所を書くことができました。